



たけたの
未来を
考える集い

—概要資料—

令和4年7月
竹田市総合政策課

も く じ



たけたの未来を考える集い（市民ワークショップ）について・・・	2
1 医療・介護・福祉・高齢者・・・・・・・・・・・・・・・・	3
2 都市基盤・住居・環境・行政サービス・・・・・・・・	4
3 商工・産業・就労・観光・レジャー・・・・・・・・	5
4 子ども・子育て・若者・教育・・・・・・・・	6
5 防犯・防災・・・・・・・・	7
6 家族・地域社会・・・・・・・・	8
参考資料（表 住民のアイディア一覧）・・・・・・・・	9

たけたの未来を考える集い（市民ワークショップ）について

●ワークショップの内容について

現在、竹田市ではまちづくりの総合的な基本指針となる「第2次竹田市総合計画」を策定しています。計画策定に伴い、2022年6月、数日にわたって竹田市では「**住みたくなる・住み続けたい竹田市を目指して**」をテーマとした「たけたの未来を考える集い」と題した市民参加のワークショップを開催し、市内における「困りごと」「困っている人」および「考えられる対応策」について、それぞれ「今」「近い将来（2、3年先）」「10年以内」という時間のスパンで考えてもらいました※。本資料では、発表内容の中でも特に困りごとについて、6つの分野（『医療・介護・福祉・高齢者』『都市基盤・住居・環境・行政サービス』『商工・産業・就労・観光・レジャー』『子ども・子育て・若者・教育』『防犯・防災』『家族・地域社会』）に分類し、それぞれの概要を示していきます。

●ワークショップの意義について

概要では、類似の意見の件数を計上しています。もちろん、特定の分類に多くの件数が挙げられていること自体は重要ですし、それらが施策の方向性のヒントになるかもしれません。しかし、本ワークショップは**施策決定の多数決の場ではありません**。本ワークショップの意義は、**市におけるあらゆる課題を住民目線で明らかにし、さらにその解決策について、自ら思考錯誤していくプロセス自体**にあります。



※ 実際には「今」の困りごとは「近い将来（2、3年先）」「10年以内」も課題であることが多く、逆に、「10年以内」の課題は「今」の課題が未来にも継続しているという予測に基づくものがほとんどです（例『店がさらに減る』）。また、中長期の未来を見据えて策定を推進する総合計画においては、不安の現実化を待つのではなく、早めの対策を意識することが重要となります。したがって本資料では時間軸を分けず、「まさに今市民が感じ取っている困りごと」の全体像を示すことを重視しています。



● 困りごとについて

医療・介護・福祉・高齢者分野の困りごとは以下の通りです。第1位は「病院（専門医療機関）の少なさ・遠さ・医療費等」であり、特に専門医療機関として産婦人科がないことが多く住民に挙げられていました。第2位は「介護や老人福祉施設に関する不安等」であり、親世代への介護や介護サービスの不足に関する懸念が数多く挙げられていました。第3位は「高齢化の進展一般」でした。

困りごと

第1位	病院（専門医療機関）の少なさ・遠さ・医療費等（119件）
第2位	介護や老人福祉施設に関する不安等（86件）
第3位	高齢化の進展一般（45件）
第4位	近親者や自分の老いや健康不安等（32件）
第5位	コロナ関連（9件）
第6位	保険・年金やその他金銭面等（8件）
その他	（6件）

● 考えられる対応策について

医療・介護・福祉・高齢者分野の考えられる対応策について、困りごと（第1位～3位）に対応する物をピックアップして掲載します。（数が多いためにそのようにしています。掲載しきれなかった分も含めたすべてのものは、本資料末尾に資料として掲載しています。）

考えられる対応策

困りごと第1位に関連する対応策

出張・訪問診療（4件）、オンライン（リモート）診療（3件）

困りごと第2位に関連する対応策

高齢者のシェアハウス（2件）

困りごと第3位に関連する対応策

健康寿命の延伸5件）

→その他、介護ロボットの使用等が挙げられました。（本資料9ページ）



●困りごとについて

都市基盤・住居・環境・行政サービス分野の困りごとは以下の通りです。第1位は「公共交通の不便さ等」であり、特にバス等の公共交通機関の不足や免許返納後の移動の不安が多く住民に挙げられていました。また、これは今回のワークショップ全体を通して最も多くあげられた困りごとの1つとなっています。第2位は「耕作放棄地・田畑・山林等の土地管理等」であり、耕作放棄地の増加や、草刈りが困難になっていることが数多く挙げられていました。第3位は「空き家・空き地の増加等」であり、これによる市内の環境の悪化が懸念されます。

困りごと

第1位	公共交通の不便さ等 (225件)
第2位	耕作放棄地・田畑・山林等の土地管理等 (178件)
第3位	空き家・空き地の増加等 (92件)
第4位	道路・水路・水道等インフラ管理等 (89件)
第5位	獣害 (イノシシ・シカ等) (38件)
第6位	住宅事情の不安等 (33件)
第7位	行政サービスに関する不安や不足等 (33件)
第8位	電波・回線・IT環境の不足等 (19件)
第9位	ごみ捨て関連 (10件)
その他	(6件)

●考えられる対応策について

都市基盤・住居・環境・行政サービス分野の考えられる対応策について、困りごと（第1位～3位）に対応する物をピックアップして掲載します。

考えられる対応策

困りごと第1位に関連する対応策

自動運転・無人運転 (11件)、コンパクトシティー (7件) …等

困りごと第2位に関連する対応策

山林を保全し活かす (2件) …等

困りごと第3位に関連する対応策

空き家のリフォーム・リノベーション・再利用 (7件) …等

→その他、草刈りのロボットの導入等が挙げられていました。(本資料 10 ページ)



●困りごとについて

商工・産業・就労・観光・レジャー分野の困りごとは以下の通りです。第1位は「商店・外食等の不足等」であり、特に日用品の買い物における場所の不足と場所の遠さや店の営業時間の短さが多くの住民に挙げられていました。第2位は「産業の停滞と働く場所の不足等」であり、人口減少と産業の停滞を背景とした働く場所の減少が数多く挙げられていました。第3位は「担い手の高齢化・後継者や人手不足等」であり、これはほぼ農業従事者・継承者の不足を意味しています。

また農業の人手不足が見られる一方で、働く場の不足も挙げられており、この点のミスマッチも課題となっています。

困りごと

- 第1位 商店・外食等の不足等（196件）
- 第2位 産業の停滞と働く場所の不足等（107件）
- 第3位 担い手の高齢化・後継者や人手不足等（78件）
- 第4位 遊ぶ場所・観光・レジャーの不足等（26件）
- 第5位 資機材・生産物の価格変動等（16件）
- 第6位 金融機関の不足等（9件）
- その他（8件）

●考えられる対応策について

商工・産業・就労・観光・レジャー分野の考えられる対応策について、困りごと（第1位～3位）に対応する物をピックアップして掲載します。

考えられる対応策

困りごと第1位に関連する対応策

移動販売（15件）、買い物代行・買い物支援（7件）…等

困りごと第2位に関連する対応策

企業誘致（30件）、農業法人化・企業化（11件）…等

困りごと第3位に関連する対応策

農業後継者の育成等（技術者育成、若者、外国人、里親）（6件）…等

→その他、ネットショップの活用等が挙げられていました。（本資料13ページ参照）

4 子ども・子育て・若者・教育

●困りごとについて

子ども・子育て・若者・教育分野の困りごとは以下の通りです。第1位は「若者（担い手）や子どもの少なさ・流出等」が多くの住民に挙げられていました。若者の流出は、まちのほぼすべての課題とつながっており、今回のワークショップで多く挙げられた困りごとの1つです。第2位は「学校教育の維持・通学の遠さ等」であり、特に児童数の減少を背景とした学校教育施設の維持に関する懸念が数多く挙げられていました。第3位は「子育て環境（保育施設・遊び場等）」でした。

困りごと

第1位	若者（担い手）や子どもの少なさ・流出等（200件）
第2位	学校教育の維持・通学の遠さ等（117件）
第3位	子育て環境（保育施設・遊び場等）（47件）
第4位	未婚者の増加・出会いの少なさ等（19件）
第5位	生涯教育・習い事の不足等（17件）

●考えられる対応策について

子ども・子育て・若者・教育分野の考えられる対応策について、困りごと（第1位～3位）に対応する物をピックアップして掲載します。

考えられる対応策

困りごと第1位に関連する対応策

Uターン者向け環境整備・支援金（5件）…等

困りごと第2位に関連する対応策

郷土愛教育（3件）、フリースクール（2件）…等

困りごと第3位に関連する対応策

子どもの遊び場（自然・川遊び等）（3件）…等

→その他、様々な個性を持った教育サービスが挙げられていました。（本資料18ページ参照）

5 防犯・防災

●困りごとについて

防犯・防災分野の困りごとは以下の通りです。第1位は「消防団員等の不足」が多く
の住民に挙げられていました。第2位は「避難行動の困難等」であり、特に高齢者の避
難や避難所の遠さなどが挙げられていました。地域社会の弱まりを反映して消防団員
の不足が挙げられていますが、他の分野と比較して、防犯・防災に関する困りごとがそ
れほど挙げられなかったのが竹田市の特長です。

困りごと

第1位 消防団員等の不足（13件）
第2位 避難行動の困難等（10件）
その他（12件）

●考えられる対応策について

防犯・防災分野の考えられる対応策について、困りごと（第1位～2位）に対応する
物をピックアップして掲載します。

考えられる対応策

困りごと第1位に関連する対応策
消防団加入の誘因（家賃補助等）を作る（2件）…等

困りごと第2位に関連する対応策
災害時の安否確認を簡単にする（1件）…等

→この他、女性の消防団加入等が挙げられていました。（本資料20ページ参照）

6 家族・地域社会

●困りごとについて

家族・地域分野の困りごとは以下の通りです。第1位は「自治会・地域活動の弱まり」が多くの住民に挙げられており、特に本資料4ページの「2 都市基盤・住居・環境・行政サービス」分野の困りごとの第2位「耕作放棄地・田畑・山林等の土地管理等」に分類される草刈りや野焼きの実行の難しさと密接に関連しています。第2位は「家族・地域社会の弱まり」であり、特に近隣の人とのコミュニケーション不足や話し相手や遊び相手の不足等が挙げられていました。第3位は「地域の行事や伝統の衰退」であり、特に貴重な祭り・獅子舞・神楽の伝承が危ぶまれていることを示唆しています。

困りごと

第1位	自治会・地域活動の弱まり (192件)
第2位	家族・地域社会の弱まり (115件)
第3位	地域の行事や伝統の衰退 (60件)
第4位	独居・独居高齢者・高齢者のみ世帯の増加 (49件)
その他	(8件)

●考えられる対応策について

家族・地域社会分野の考えられる対応策について、困りごと（第1位～3位）に対応する物をピックアップして掲載します。

考えられる対応策

困りごと第1位に関連する対応策

自治会再編・統合 (26件) …等

困りごと第2位に関連する対応策

交流の機会を設ける (13件)、…等

困りごと第3位に関連する対応策

伝統文化を伝え継承する (祭り・神楽・獅子舞・工芸) (7件) …等

→この他、移住者との交流イベント等が挙げられていました。(本資料20ページ参照)

参考資料（表 住民のアイディア一覧）

医療・介護・福祉・高齢者	
医者への往診を依頼する	移動病院
医療介護人材の確保	医療機関の連携
医療に携われる人の増加	医療費控除
遠隔医療	温泉で健康に
オンライン診察	オンライン診療
介護施設の増加	介護施設の増設
介護施設や老人ホームの拡充	介護のさらなる機械化
介護ロボットの導入	学生ボランティアによる高齢者の見守り
規模が多く診療科目の多い病院の設立	巨大老人ホーム経営
元気で長生きできる体をつくる	元気な高齢者
健康献立を作成して誰もが食べられるようにする	健康寿命延伸
健康寿命の延伸	健康対策
県病院レベルの病院の設置	高級老人ホームを作る
後継となるお医者さんに来てもらう	高齢者医療費制限
高齢者がタブレットで買い物	高齢者が中心部で即座に住める環境の提供
高齢者が生き生き過ごせる場所	高齢者施設の無料化
高齢者住宅	高齢者宅への訪問・声掛け
高齢者同士で同じ場所に住む世話をする	高齢者と連絡を取れるシステム
高齢者のシェアハウス	高齢者のシェアハウス
高齢者の相談ができるサロン	高齢者用住宅
産婦人科	産婦人科医を連れてくる
産婦人科の誘致	産婦人科を作る
児童福祉施設の設立	自分が健康にしているようにすること
自分のことは自分でする	出張医療
出張病院	出張病院サービス
助産院を誘致	水準の高い医療介護サービスの提供
生活習慣の見直し	専門医
他市との医療連携	地域診療の充実
透明マスク	独居老人への声掛け
認知症対策のための福祉と医療の連携	ネットで診察
一人暮らしが続けられるようにサポート	病院（産婦人科）を作る
病院でなく診療所を増やす	病院の統合
病院をグループホームとして活用	病気がない

医療・介護・福祉・高齢者	
福祉系の人材育成	福祉サービスの充実
福祉施設建設	福祉施設等の労働環境の整備
福祉施設の統合	訪問診療
養護施設を建設し職員と家族を呼ぶ	リモート診療

都市基盤・住居・環境・行政サービス	
3世代同居で補助金	5Gの基地整備
AI・ロボットの活用	AI・ロボットの活用ロボットの活用
ARとVRの一般化	IT塾
ITをうまく活用	WEB3.0の活用
Wi-Fi環境の整備	空き家になる前に対策
空き家の改修サポート	空き家の活用
空き家の活用	空き家のリノベーション（シェアハウス等）
空き家をリノベーションしてから貸し出す	空き家のリフォーム
空き家のリフォーム	空き家のリメイク
空き家バンクの活用	空き家や空き地をさら地にして市に移譲する
空き家を活用する	空き家を壊して更地にする
空き家をリフォームして宿泊施設に	空き家を利用して通いの場を作る
新しい作物を作る際の初期支援	アパートの充実
アメリカみたいに家の前にゴミを置けるようにする	移動サービス
移動サービス	移動支援
移動手段の確保	移動手段の充実
田舎暮らしの価値観	田舎に住居を立てると所得税住民税減税
医療・介護。スーパーなどが整備されたマンションをまち中心部に低額で	インフラ管理の業者委託
インフラの整備拡充	運転代行タクシー業
駅を作る	駅を作る
園芸に空き地を活用	大分市のベッドタウンであることを活かす
オートパイロットのシニアカー	害獣対策
害獣を逆手にとって加工販売	回覧板をドローンで運ぶ
夏季冬季の帰省者の支援（宿泊の確保）	各曜日の朝にゴミ回収に回る収集車を回遊させる
家族向けマンション	合併
カモシカ号が枝道まで入るように	カモシカ号の夜間運営
カモシカ号を回してほしい	環境を汚さない除草剤を作る
気軽な送り迎え	起業支援
既存の建物などを有効活用する	業者にまちをきれいにしてもらうように依頼

都市基盤・住居・環境・行政サービス	
行政による環境整備支援策	金曜日から月曜朝まで竹田に住む政策
空港を作り物流センターとつなぐ	草刈り機の貸し出し
草刈りの必要ないのり面を作る	グラウンドに集合住宅を建てる
暮らサポの継続	暮らしやすい住環境を作っていく
グループホームの建設	車のコミュニティ（自由に乗せられる）
車の自動運転	ケーブルテレビで情報を伝えてほしい（視力悪化のため聞けるものがよい）
ケーブルテレビやラジオ局もあわせて作る	公園の整備
耕作放棄地の造成	耕作放棄地の対策
高速回線の整備	高速の橋の下のデッドスペースの活用
高速を通す	交通会社とともに交通網を作り直す
交通手段・公共交通の確保	交通手段の確保
交通の効率化・増便	交通網を活かして物流の拠点に
高齢者でも簡単に運転できる車の開発	高齢者にタブレットを配布する
ゴミ捨て代行サービス	コンパクトシティー
コンパクトシティー	コンパクトシティー
コンパクトシティー	コンパクトシティー
コンパクトシティー	コンパクトシティー化
山林原野を活かす	山林保全
シェアハウス	市営住宅の充実
市営住宅を作る	自衛隊の訓練で害獣の駆除
市営の24時間ジム・プール・サウナ	市営の猫カフェ
市営の飲み屋を回転	自家用車の活用
自動運転	自動運転
自動運転	自動運転車の普及
自動運転の車で好きなところへ	自動運転の車の活用
自動運転の公共交通への援用	自動運転の自動車がほしい
自動運転の車を安く買えるように	市道管理の業者委託
自動草刈り機	自動収穫ロボット
市独自の公共 Wi-Fi	市独自の助成
市に寄付金を募る	集合住宅
住宅や空き家のマッチング	住宅を作る
週末に田んぼを貸す	住民・行政・その他機関の協力による支えあいの仕組みづくり
住民の集約	商品券毎月10万
情報発信	所有権移転の事務の簡素化
白タク	白タクの認可
新規就職者への定住化	シングルマザーに特化したサービス

都市基盤・住居・環境・行政サービス	
水素ステーションを作る	生活用品調達のドローン
税込アップ	全国の活性化成功事例の情報収集
全市民腕時計型バイタル管理	創業支援
代行サービス	タクシー会社を誘致
タクシーや配達業など単発の仕事で収入増につながるもの	宅配サービスの充実
タブレットの使い方を覚えてもらい市が活用する	地区の団地化
通信インフラの強化	通訳
手厚い補助	定住増加につながる住みやすい環境整備
定年退職者をターゲットに戸建て住宅を貸借する	デジタル先進地化
デマンド交通の整備	デマンド交通や乗り合いタクシーを全域に運行
デマンドタクシー	電気スタンドを作る
電車の本数を増やす	転入者が住みやすいまちづくり
どこにも劣らないネット環境づくり	土地の有効利用
ドライブスルー化	ドローン宅配
ドローンでイノシシ退治	ドローンで薬や食料を配達
ドローンで宅配	ドローンによる宅配サービス
ドローンの活用	ドローン配達
ドローンを活用する	ネット環境の向上
ネット環境をよくする	ネット投票
乗り合わせができる仕組み	乗り合いタクシーの整備
廃屋の家財道具をオークションに出す	廃屋の自己管理の徹底化
配達サービス	ハイテク機械の開発や草刈り
パソコン・スマホ教室を開いてほしい	ハンターを増やす
光回線導入を国（デジタル庁）に働きかける	人がいなくなるのでIT化
ベッドタウン化	補助金を出す
ボランティアポイント制度の整備	マンション建設
皆で市役所を盛り上げる	昔の村が残っている暮らし
無人運転の車を走らせる（シャトル便）	無人の車がほしい
メタバースの活用	メッセージアプリの活用
免許不要の電気自動車を免許返納者に贈る	免許返納しない
免許返納者に交通費の支給	夜間のデマンドタクシー
家賃を無償化	山・田・畑のヘルパー
郵便局で商品の配達	ラーメン街道を作る
ログハウス村の建設	ワークショップを定期的に開催
Wi-Fiの整備	若者向けの宅地を提供

商工・産業・就労・観光・レジャー	
「お接待」の復活	「隠れ里」新しき村の建設
60～69歳の人材発掘	ALT（外国人観光客対応）
EC	EC企業と協定
ECサイト出品の代行業務	IT関係の働ける場所
IT企業の誘致	PR力を高める
SNSを活性化	SNSを活用して魅力を発信する
アウトレットモールの誘致	アウトレットモールの誘致
あ祖母学舎の利活用	新しい産業を作り出す
新しい商業「自由市」	新しい畜産の創造
アニメーションスタジオ記念館の誘致	一次・二次産業の若手の育成
一次産業者の育成・助成	一次産業の異業種参入
移動スーパー	移動販売
移動販売	移動販売
移動販売	移動販売
移動販売	移動販売
移動販売車	移動販売車だけの商店街
移動販売車の充実	移動販売車の充実
移動販売車の充実	移動販売車への女性
移動販売の増加	イノシシとシカの大牧場
イノシシのジビエやその他タワシ・ハウキ等の商品化	イノシシマスターの育成
イベントのPR	今の産業を守る
インスタ映えするおしゃれな店	うどん屋を作る
運転手の派遣センター（会社）	映画館を作る
映画やパチンコ施設の誘致	営農集団を作る
エッセンシャルワーカーの賃金の底上げ	エンターテインメント施設
大型カジノ	大型商業施設の誘致
大型商業施設の誘致	大型スポーツ施設
大型店舗を出店する	大きいフェス
大きな会社・工場ができる	大きな商業施設の誘致
岡城の天守閣の建設	屋内複合型施設（子供から大人まで）
おしゃれな街並み	おもちゃ屋をつくる
親元就農の人に対するサポートの充実	温泉組合がテーマを持つ
温泉地を活かした観光業	温泉の利用
温泉を生かしたりハビリ	温泉を生かして物産館にする
外貨獲得できる農業・観光分野の産業の創造	外貨の獲得

商工・産業・就労・観光・レジャー	
外貨を稼ぐ・人材づくり	買い物支援
買い物支援	買い物情報を伝えるテレビ放送
買い物代行サービス	買い物代行サービス
買い物代行サービス	買い物代行サービス
買い物はドローンで配達	買物を自動運転で
帰ってきた人が稼げる仕事	学生が地元で仕事に就けるように工夫
各地域の資源を活かす（久住は高原・畜産農業・観光、都野は救急病院、直入は農業・畜産・温泉、竹田は歴史・文化）	カジノを作る
稼げる農業に	河川プール
ガソリン代の補助で買物をしやすく	家庭菜園規模で農地や畑を耕すセンター
観光客の増加	観光客を増やす
観光資源としてもみじの植栽を活かす	観光振興
観光促進	観光で市内を循環する仕組みづくり（連携）
観光のための地元 PR 地元を好きになる	観光バス
観光向けの商店	観光名所を増やす
官民一体で農業を盛り上げる	機械化
企業的農家を作る	企業同士のつながり
企業版ふるさと納税を積極的に進める	企業誘致
企業誘致	企業誘致
企業誘致（IT 企業など）	企業誘致する
企業誘致で仕事を増やす	企業誘致で人を増やす
企業誘致のための税や土地斡旋等の優遇策	企業誘致働く場を増やす
企業誘致を促し若者を増やす	企業誘致を進める
企業誘致	キャバクラ
キャンプ場	キャンプ場跡地の活用
近隣地の農地保全と担い手の確保	久住の自然を維持するためにボランティアを集める
久住の素晴らしい自然を生かして人を呼ぶ	久住ブランドの PR 法

商工・産業・就労・観光・レジャー	
熊本ルートの開通を見込み IT 企業の誘致	グランツで質の高い演劇等を見せる
グランピングを利用したイベント	経営力の育成
景観を利用したおんせんや別荘地	経済システムの確立
高級産科ホテル	高校の専門化（農業等）
工場を誘致	耕畜連携
高齢者が楽しめる場を作る	個人経営を法人・会社化
個人商店の発注取次	子どもたちが帰って働ける場を作る
子どもへの就労支援	困りごとにすぐに対応してくれる企業や人
古民家で人を呼び寄せる	コンビニを増やす
山菜・漬物・菜園等の経験を生かした産業育成	市街地の活性化（お土産売場、名物、食事処を増やす）
シカの角の再利用や商品化ができないか	支給型の買い物支援
自給自足	仕事と人材育成
自然回帰（縄文時代に戻る）	事前にネット注文して現地で買ってもらう（他の必要品も）
自然の中で遊べる方法を教える	自然や山を活かした施設
自然を生かした遊び場を作る	自然を生かした企業誘致
自然を生かしたスペースを作り健康になる	自然を利用して PR
市内の温泉、カフェ、食堂、花公園への送迎（ルートをカスタマイズ可）	市の展望や目標を立てる
市の魅力を市外に発信	ジビエを特産品に
ジムを作る	地元商店の活性化
地元でお金が回る仕組みづくり	収穫ロボットを導入する
住民が一丸となって商店街を盛り上げる	集落営農
狩猟で儲かる仕組み	巡回式スーパー
循環型農業	循環型農業畜産業
障がい者の旅の受入れ	城下町におしゃれな店を増やす
商工会もテーマを持つ	商店等と連携しドローンで買い物ができるようになればいい
職場の確保	職場の確保
食糧難に強い村の PR を全国に向けて行う	初心者でも農機具を使えるようにサポート
ショッピングモールの誘致	人材派遣センターの開設
人材バンクの活用で農業サポーター	新鮮野菜をたくさん作りアピール
スポーツイベント	スポーツイベントの実施
スポーツ団体誘致	スマート農業
スマート農業	生活エリアと農地の明確化
生協のタブレット化	先端技術の実験場になる
そば街道を作る	大企業誘致
大規模小売店来る？	大規模商業施設の誘致

商工・産業・就労・観光・レジャー	
大規模農業法人の設立	大規模フェス
大規模法人化の取組	大自然とハイテクノロジーと産学連携
タクシーで買い物したものを運んでもらう (注文して)	宅配・買い物代行
宅配サービスの企業化	竹田の魅力を発信し体験してもらう
他者に委託している仕事を地元でつくる	ダムを活かした観光
単純労働力の確保	田んぼや畑を地域で共同管理して農業を行う
地域でもネットで買い物ができる	地域の人・自然・神社を大切にする
小さい時からの農業体験	賃金アップ
定年退職した職員に二種免許取得を奨励し運送サービス	定年退職者が運転手に
テーマパークをつくる	テレワーク環境整備
テレワークの導入	転作してコメから小麦・大豆へ
動物といやし動物園	道路が開通するので企業誘致する
特産品を全国に販売	独自の産業を産み出していく
特化した産業構造を作り出す	ドローンで買い物
ドローンを使った買い物	ドローンを使った農業
賑わいを取り戻す	日本一大きな子ども・大人・動物がふれあい遊べる施設を作る
日本一のジップラインを作る	ネットショップ
ネットショップ	年齢関係なく働ける仕事
農家を市が管理する	農機具購入の補助
農業経営に IT 活用	農業後継者育成
農業後継者育成	農業従事者に準公務員として月 50000 円以上支給する？
農業収入の拡大策	農業する企業
農業畜産のさらなる発展	農業でネットの活用
農業と IT の合体	農業に外国人を雇用
農業の IT 化	農業の跡継ぎの里親制度導入
農業の跡継ぎの里親制度導入	農業の活性化
農業の機械化	農業の技術革新
農業の合理化	農業の事業化
農業の自動化	農業の自動化
農業の大切さを伝えること	農業のブランド
農業への企業誘致	農業法人
農業法人化	農業法人化
農業法人による耕作放棄地の一括管理	農業法人の設立による小規模農地の集積
農業法人の設立による若者の雇用	農業法人を作り皆で管理する
農業林業の企業化	農業を行う体制を変える

商工・産業・就労・観光・レジャー	
農業を始める人に無理のないように補助金を	農作業の機械化（IT化）
農作物のブランド化	農地集約農家
農地整備を共同管理	農地の基盤整備を進める
農地の再利用で企業等へ	農地バンクのサイトの充実
農地を活かし農業技術者を育成	ノーリフティングケアのリフト付き温泉
飲み屋の充実	飲み屋の充実
飲み屋横丁の形成	橋の下でテーマパーク
働く環境	働く場所づくり
働く場所の確保	働く場所を作る
働く場所を増やす	発信力
葉っぱビジネス	花火大会
販売流通の促進	パンを作る
人を呼び込むための PR	副業勉強会
複合施設を作る	放牧農業
ボウリング場	ホテルの近辺に陸上競技場と合宿施設
まちを一大テーマパークにする	水・文化芸術を PR
道の駅を作る	道の駅を作る
飯屋を作る	メタバース仮想空間の導入（田舎でもショッピングや最新流行を購入・体験できる）
儲かる農業	野菜等の販売ルートの確保・整備
遊休施設の活用	遊休地の活用
遊休農地の利用	豊かな自然を守る
ゆるキャラをつくる	良い場所が多いので広めて観光地にする
リタイアした人に移動販売車等動かしてもらう	リモート
リモートオフィス誘致	リモートワーカー向けの施策
漁師の育成	旅館でショートステイ
ロープウェイ	ロープウェイを活かす
ロボットを活用したスマート農業のモデル事業の推進	ロボットを使った買い物配達
大規模小売の誘導	若いうちからまちの中での仕事に興味を持たせる
若い人が楽しめる施設	若い人のニーズに合う会社を誘致
若い世代の農業畜産に変わる	若者が働ける場を作る
若者の就労の場にもなる移動販売車	

子ども・子育て・若者・教育	
IターンUターンで活性化	Iターン人口の増加
PC・アプリの使い方教室	Uターン
Uターンしたくなる職場を残していく	Uターン者の受入れしやすい環境づくり
Uターンのための仕事・家を準備する	Uターンの人に支援金増額
移住して家の購入・建設で1000万円の補助金	移住者に対し家や車を助成
移住者の受け入れ	移住者の相談場所
移住者向けのニュータウン	移住者を受け入れた地区に対する助成
移住者を受け入れる心の準備をする	移住者を受け付ける
移住促進	移住定住する若者への補助
移住定住の促進	英語教育
お金の教育	訪れる人の増加
音楽大学の誘致	音楽大学を作る（滝廉太郎）
オンライン授業の推進	海外からの移住者を増やす
海外からの移住政策	外国人に移住してきてもらう
外国人労働者	外国人労働者の永住（家族も含め）
外国人労働者の永住（家族も含め）	外国人労働者の確保
外国人労働者の呼び込み	外国人労働者の呼び込み
外国人を雇う	外国の方に長く住んでもらえるようにする
介助の専門学校を誘致	核家族を減らす
学生を集めるため高校の奨学金の案内を出す	各地域に学校を残す
家族手当を出す	学校跡地の活用法を考える
学校跡地を集合住宅にする	学校教育と社会教育
学校でも学校外でも親子で参加できる場を設ける	学校に高齢者が集まる教室をつくる
学校にとらわれない学びの場作り	学校に全国からの山村留学
学校の存続	学校の誘致
学校への補助金	川遊びスクール
給食費支援	教育機関誘致
教育の充実	教育費無償化
郷土愛教育	郷土愛の教育
郷土愛を育む教育	久住だからこそできる教育（農業・自然）をする
芸術家等に家族で移住してもらう	結婚・出産給付金を増す
結婚や出産に補助金を	高校に土木建設課を創設
高校を充実させ全市から生徒を呼ぶ	高齢者やデジタル弱者に対してスマホ塾を開く
子育て環境最良地区として特化	子育て支援金
子育て支援の補助	子育て支援を手厚く

子ども・子育て・若者・教育	
子育て支援を手厚く	子育て支援を手厚く（祝い金・おむつ代補助）
子育てしやすい環境	子育てママのサポートをみんなで
子ども医療費中学生まで無料	子ども食堂を作りたい
子どもたちに遊び場の提供	子ども手当
子どもに地元で何かやってほしいと教育	子どもの遊び場を作る
子どものいる世帯に家賃補助	子供の学費の無料化
この地にあった特徴ある学校を作る	自衛隊の誘致で交付金や人口増
市外からも人が来るような特色のある学校づくり	資格の取得を助成
次世代に金融教育	自然学校・自然大学
自然を活用した若者と子どもの遊び場	児童手当の増額
市内合同コンパ	市の中心部の小学校への統合
地元の子どもが地元の高校で学んで地元で働く仕組みづくり	出産祝い金
出産費用の助成	奨学金や家賃補助でUターンしやすく
小学校運動会を校区全員で応援する	小学校の跡地を保養施設にしてツーリズムの拠点に
商工会によるお見合いツアー	少子化対策として子ども一人につき 100 万円
少数精鋭で高校の魅力アップ・小中との連携	小中一貫等の教育の新たな仕組み
私立の小中高を誘致	人口減少を少しでも遅らせる
人口増加を目指す	人口の増加で明るい地域
人口を増やすために外国人を呼ぶ	税金を投入して人材確保
専門学校や大学の誘致で若者を呼び込む	大学との協定
大学誘致	大工の専門学校の人に空き家をリフォームしてもらい安価で売る
他市が引き受けない事業を引き受け収入と労働者（人口増加）	タブレットを皆が使えるようにする
多様性のある教育	多様な教育サービス
地域で子育てしたくなる教育	中学生用の寮を作り通学が簡単にできるように
中学校にカヌー部	出会いのイベント等を企画する
出ていった子供が帰ってくる	電動自転車を子どもへ支給
都会から若い人をつれてくる	都会の高等遊民に移住してもらう
都会の若者がホームステイするイベント	特色ある教育
都市部の若い人たちを人材として活用（ヤング人材センター）	土地を安くして移住促進
ドローン技術者が育つ学校ができる	担い手の育成
担い手ポイント	人間力の育成
ネット関係の教育	農業高校をPR
農業の町をアピールして若者を集める	農業を教える人がいれば興味を示す若者が来るのでは

子ども・子育て・若者・教育	
藩校教育の復活（スーパーリージョナルスクール）	人が集まる方法の考案
人を集めることができるように	部活や習い事のスペシャリストの誘致
副業学校	フリースクールを作る
フリースクールを誘致	放課後や休日に子どもたちが安心して遊べる場を作る
母子・寡婦に移住してもらう	母子センターの復活
マッチングアプリ	マッチングアプリで人材確保
祭りをPRし全国から担い手と移住者を募る	味噌こんにやくや漬物を若い人に教えるプラン
有機学校給食	リモートワークの環境整備を行い人を呼ぶ
若い人に選ばれる環境に	若い人に保育園や子育ての補助
若い人の移住を増やす	若者が住むように（大学・専門学校）
若者に期待をしない	若者の意見を尊重して地域に活力を
若者の定住促進	若者向けイベントによる住民誘致

防犯・防災	
消防団に女性が入る	消防団を退団した人がまた戻ってくる仕組み
消防団員に家賃補助	消防団への手厚い支援
災害に強い・負けない環境の整備	災害時の安否確認を簡単にする
避難所のネット環境の充実	防犯カメラ
平和	

家族・地域社会	
空いた学校の施設を通いの場に	空き地をサロンとして活用
集まり・交流の機会を増やす	アナログとデジタルを混ぜた地域通貨の仕組み
新たなコミュニティの発生	あらゆる役の簡略化
ある程度の機能の切り捨ても必要	移住してきた人と地元の人との交流の場
移住者と集落の人で共同のお米作り	移住者の交流や組織化
いつまでも働ける場所	今ある機関の横のつながりを強化
今ある機関の横のつながりを強化	今ある組織の活性化
おかずを皆でまとめて作る	お困り支えネットワーク
オンラインによる新しい交流の場	会の運営の簡略化
各行事の再生	神楽クラブをつくる
神楽と獅子舞を記録し伝統を守る	気軽に集まれる場所の構築
気軽に多世代が集まれる場所づくり	キッチンカーが自治会にやってくる
近所の人たちと仲良くする	現役のうちからボランティア的活動
後継者の育成	後継者の確保

家族・地域社会

公民館活動の活性化	公民館の有効活用
交流機会を増やす	交流できる場所
交流の場を作る	高齢者がシニアカーで伴走して子供と通学する。
高齢者と若者の交流の場を作る	個人を尊重しすぎる
ゴミ屋敷を地域全員で清掃	コミュニティ組織の結成
コンビニの移動車が自治会にくる	市外との交流
時代に合った組織の再編	自治会機能の集約・統合
自治会機能の統合	自治会行事の見直し
自治会業務を遊び感覚で手伝ってもらう	自治会再編
自治会作業参加希望者向けマッチングアプリ	自治会作業の委託化
自治会組織の統合	自治会で集まって食事や話す場の設置
自治会に代わる集団	自治会に人がたくさん入るように
自治会に補助金を出す	自治会の合併
自治会の合併	自治会の再編成
自治会の再編成	自治会の自動車運転代行事業
自治会の統合	自治会の統合
自治会の統合	自治会の統合を進める
自治会の統合を進める	自治会の見直し
自治会の役の世代交代のきっかけづくり	自治会の枠組みを考え直す
自治会を超えて居住地の集約	地元の人がもっと久住の魅力に気づく
市役所職員の地域活動の積極的参加	昭和時代のような人間関係
青年団の復活	世代間交流イベント
世代間交流ができるコミュニティをつくる	セルフケアコミュニティーを作る
竹田の魅力に関する本音トーク	助け合いの気持ち
多世代交流を増やす	多文化共生の地域づくり
地域おこし協力隊	地域学習で市の魅力を伝える
地域コミュニティ形成の推進	地域産業支援策の充実
地域全体で自治会を支える	地域全体をドッグランにする
地域通貨	地域通貨を作り誰でも屋台を出せるようにする
地域でお金が回る仕組みを	地域で守りあい
地域と役所の緊密化	地域内の風通しを良くする
地域に統合した組合を作る	地域のイベントを計画する組織
地域の引力を知る	地域のガイドマップ作製
地域の交流イベント	地域の交流会
地域のスポーツ大会をやめてみる	地域の力を活かす
地域の発掘・良さを改めて知る	地域の連携

家族・地域社会	
地域連携	中山間地域のデータを基礎にインフラ重要度を共有
散らばっている地域の人を集約する	伝統行事（祭り）の継承
伝統芸能の継承	伝統工芸を売る通りを街角に作る
伝統文化を孫へ伝える	土地に縛られない
人間関係の再構築	ネットで遠くの人とつながる
ネットの活用で地域の特産品	年代別ボランティアの発掘と育成
働ける場所の確保	人と出会う機会を作る
人とのつながりを大切にする	人と人とのつながり
人と人とのつながり	不便が楽しいと思える地域づくり
不便さを知りながら生活	毎月青空市場のようなイベント
町の娯楽を整理してつなぐ	まちの賑わい創出
みんなで楽しく過ごせる場所	物事の簡略化
役員数を少なくしていく	役職の兼務
優しさがある地域にする	リーダーの確保
類似地区の役員をまとめる	若い人が参加できる行事

※一部判読不可能なもの等、割愛させていただきました。

